

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-240634

(43)Date of publication of application : 28.08.2002

(51)Int.Cl.

B60R 5/04

(21)Application number : 2001-039048

(71)Applicant : MEIWA IND CO LTD

(22)Date of filing : 15.02.2001

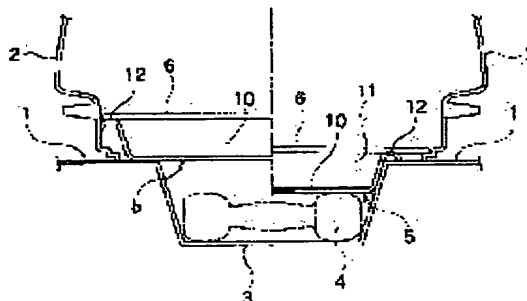
(72)Inventor : SHIBUYA HIROSHI

(54) HOUSING PART STRUCTURE FOR VEHICLE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a housing part structure for a vehicle to be formed into a small pocket in the case of a small load or no load and to be formed into a large pocket in the case of a large load.

SOLUTION: This housing part structure for the vehicle is formed of a nearly horizontal floor panel 1 surrounded by wall parts 2, a spare tire housing part 3 formed at a width dimension narrower than the cross dimension of the floor panel 1 and formed at a position lower by a step in relation to the floor panel 1, and a pocket main body 5 possible to be housed in the spare tire housing part 3. The pocket main body 5 is formed of a pocket part 10 for housing objects and an edge part 12 formed in the periphery of an opening 11 of the pocket part 10. The pocket main body 5 is formed freely to be extended and shrunk so that the edge part 12 can be suspended from the floor panel 1 in the condition that the pocket part 10 is housed in the spare tire housing part 3 and that the pocket part 10 can be placed on the floor panel 1.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-240634
(P2002-240634A)

(43) 公開日 平成14年8月28日 (2002. 8. 28)

(51) Int.Cl.⁷
B 6 0 R 5/04

識別記号

F I
B 6 0 R 5/04

サーチコード* (参考)
Z 3 D 0 2 2

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2001-39048 (P2001-39048)

(22) 出願日 平成13年2月15日 (2001. 2. 15)

(71) 出願人 000244280

盟和産業株式会社

神奈川県厚木市恩名33番地

(72) 発明者 渋谷 広

神奈川県厚木市恩名33番地 盟和産業株式
会社内

(74) 代理人 100083806

弁理士 三好 秀和 (外8名)

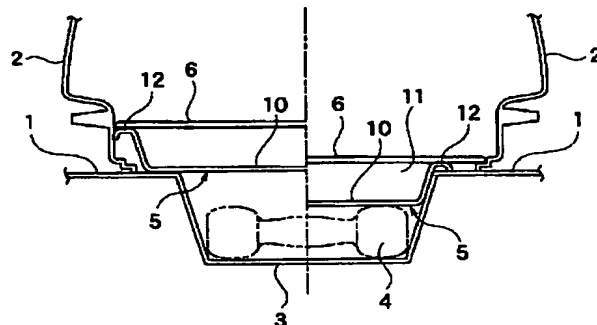
Fターム(参考) 3D022 BA12 BB04 BC09 BC11

(54) 【発明の名称】 車両用収納部構造

(57) 【要約】

【課題】 積載物が小さいか無いときは小さな物入れ本体とし、大きな積載物の時は大きな物入れ本体とすることのできる車両用収納部構造を提供する。

【解決手段】 壁部2に囲繞されてなる略水平面状のフロアパネル1と、該フロアパネル1の幅寸法より狭い幅寸法よりなると共に前記フロアパネル1に対して段下がりした位置に形成されてなるスペアタイヤ収納部3と、該スペアタイヤ収納部3に収納可能な物入れ本体5とよりなり、前記物入れ本体5は、物品を収納可能な物入れ部10と、該物入れ部10の開口11の周囲に形成されてなる縁部12とよりなり、前記スペアタイヤ収納部3に物入れ部10を収納した状態で前記フロアパネル1に縁部12が吊り下げ可能となると共に、前記フロアパネル1上に物入れ部10が載置可能となるように伸縮可能である。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 壁部に囲繞されてなる略水平面状のフロアパネルと、該フロアパネルの幅寸法より狭い幅寸法よりなると共に前記フロアパネルに対して段下がりした位置に形成されてなるスペアタイヤ収納部と、該スペアタイヤ収納部に収納可能な物入れ本体とを少なくとも備えてなる車両用収納部において、前記物入れ本体は、物品を収納可能な物入れ部と、該物入れ部の開口の周囲に形成されてなる縁部とより構成されてなり、前記スペアタイヤ収納部に物入れ部を収納した状態で前記フロアパネルに縁部が吊り下げ可能となると共に、前記フロアパネル上に物入れ部が載置可能となるように伸縮可能であることを特徴とする車両用収納部構造。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の車両用収納部構造であって、前記物入れ本体は、前記スペアタイヤ収納部内で略半割状態になる第 1 物入れと該第 1 物入れに対応した略半割状態になる第 2 物入れとにより器状に形成されてなり、該第 1 物入れの壁面より第 2 物入れの壁面に沿って延長壁面が形成されてなり、前記第 2 物入れを前記第 1 物入れの延長壁面に沿ってスライド自在なると共に適宜の位置で係止が可能なることを特徴とする車両用収納部構造。

【請求項 3】 請求項 2 に記載の車両用収納部構造であって、前記第 1 物入れの延長壁面と前記第 2 物入れの壁面との何れか一方に、スライド方向に長い寸法の係合部が形成されてなり、何れか他方に、前記係合部に係合可能な被係合部が形成されてなることを特徴とする車両用収納部構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、車両用収納部構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の車両用収納部構造としては、例えば、実開平 6-16151 号公報に示すように、物入れ本体を、フロア面の下に形成し、外での履き物をその物入れ本体に収納可能にしているものがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、かかる車両用収納部構造によれば、収納する大きさが限定されており、この物入れ本体の大きさよりも大きな荷物は、物入れ本体の外に置かねばならず、車両のように走行振動が伴うものにおいては、物入れ本体の外に置いた荷物に対して別の固定手段を用意しなければならないため、原価高騰の一原因になる。また、様々な状況を勘案して大きな空間を有する物入れ本体をあらかじめ積載しておけば、様々な積載物に対応できるものの、積載物がない

か或いは小さな時には、全く無駄な空間（デッドスペース）となり、車両の狭い空間をより狭くすることになり、商品性が損なうことになる。

【0004】そこで、この発明は、このような従来の技術に着目してなされたものであり、積載物が小さいか無いときは小さな物入れ本体とし、大きな積載物の時は大きな物入れ本体とすることのできる車両用収納部構造を提供するものである。

【0005】

10 【課題を解決するための手段】請求項 1 に記載の発明は、壁部に囲繞されてなる略水平面状のフロアパネルと、該フロアパネルの幅寸法より狭い幅寸法よりなると共に前記フロアパネルに対して段下がりした位置に形成されてなるスペアタイヤ収納部と、該スペアタイヤ収納部に収納可能な物入れ本体とを少なくとも備えてなる車両用収納部において、前記物入れ本体は、物品を収納可能な物入れ部と、該物入れ部の開口の周囲に形成されてなる縁部とより構成されてなり、前記スペアタイヤ収納部に物入れ部を収納した状態で前記フロアパネルに縁部が吊り下げ可能となると共に、前記フロアパネル上に物入れ部が載置可能となるように伸縮可能であることを特徴とする。

20 【0006】請求項 1 に記載の発明によれば、物入れ本体は、物品を収納可能な物入れ部と、該物入れ部の開口の周囲に形成されてなる縁部とより構成されてなり、スペアタイヤ収納部に物入れ部を収納した状態で前記フロアパネルに縁部が吊り下げ可能であるから、積載物が小さいか無いときは小さな物入れ本体としてスペアタイヤ収納部のデッドスペースを利用して支持できるから、車両内の空間を狭めないことになる。また、大きな積載物の時は、フロアパネル上に物入れ部が載置可能となるように伸縮可能であるので、大きな積載物を物入れ本体としてフロアパネルの上に載置可能である。

30 【0007】請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の車両用収納部構造であって、前記物入れ本体は、前記スペアタイヤ収納部内で略半割状態になる第 1 物入れと該第 1 物入れに対応した略半割状態になる第 2 物入れとにより器状に形成されてなり、該第 1 物入れの壁面より第 2 物入れの壁面に沿って延長壁面が形成されてなり、前記第 2 物入れを前記第 1 物入れの延長壁面に沿ってスライド自在なると共に適宜の位置で係止が可能なることを特徴とする。

40 【0008】請求項 2 に記載の発明によれば、物入れ本体は、前記スペアタイヤ収納部内で略半割状態になる第 1 物入れと該第 1 物入れに対応した略半割状態になる第 2 物入れとにより器状に形成されてなり、該第 1 物入れの壁面より第 2 物入れの壁面に沿って延長壁面が形成されてなり、前記第 2 物入れを前記第 1 物入れの延長壁面に沿ってスライド自在なると共に適宜の位置で係止が可能なるので、小さな物入れとも大きな物入れともどちらに

も容易且つ簡易に変更できることになる。

【0009】請求項3記載の発明は、請求項2に記載の車両用収納部構造であって、前記第1物入れの延長壁面と前記第2物入れの壁面との何れか一方に、スライド方向に長い寸法の係合部が形成されてなり、何れか他方に、前記係合部に係合可能な被係合部が形成されてなることを特徴とする。

【0010】請求項3記載の発明によれば、係合部と被係合部との間を弛めれば、第1、2物入れの大きさを容易且つ簡易に変更でき、係合部と被係合部との間を固持させれば、第1、2物入れの大きさを確実に保持できることになる。

【0011】

【発明の実施の形態】本発明の好適な一実施形態を図1乃至図5に基づいて説明する。

【0012】符号1は、「壁部」としてのサイドトリム2に囲繞されてなる略水平面状のラゲッジフロアパネルである。符号3は、該ラゲッジフロアパネル1の幅寸法より狭い幅寸法よりなると共に前記ラゲッジフロアパネル1に対して段下がりした位置に形成されてなるスペアタイヤ収納部である。符号4は、該スペアタイヤ収納部3に収納可能なスペアタイヤである。符号5は、前記スペアタイヤ収納部3に収納されているスペアタイヤ4の上側の面とラゲッジフロアパネル1との間の空間に収納されてなる物入れ本体である。符号6は、前記サイドトリム2に囲繞されてなるラゲッジフロアパネル1を覆うラゲッジフロアトリムである。

【0013】前記物入れ本体5は、何等かの物品を収納可能な物入れ部10と、該物入れ部10の開口11の周囲に形成されてなる縁部12とよりポリプロピレン樹脂により一体に構成されてなり、前記スペアタイヤ収納部3に物入れ部10を収納した状態で、図2の右半分に示すように、前記ラゲッジフロアパネル1に縁部12が吊り下げ可能となると共に、図2の左半分に示すように、前記ラゲッジフロアパネル1上に物入れ部10が載置可能なように伸縮可能である。

【0014】前記物入れ本体5は、前記スペアタイヤ収納部3内で略半割状態になる第1物入れ5aと、該第1物入れ5aに対応した略半割状態になる第2物入れ5bとにより器状に形成されてなり、該第1物入れ5aの物入れ部10の縦壁面13より第2物入れ5bの縦壁面14に沿って延長壁面15が形成されてなり、前記第2物入れ5bを前記第1物入れ5aの延長壁面15に沿ってスライド自在なると共に適宜の位置で係止が可能なる。

【0015】前記第1物入れ5aの延長壁面15に、スライド方向に長い寸法の「係合部」としての長孔16が形成されてなり、前記第2物入れ5bの縦壁面14に、前記長孔16に係合可能な「被係合部」としてのビス17が配されてなる。該ビス17は、前記第2物入れ5bの縦壁面14に形成されてなる支持部14aに配され

たナット18に螺合されてなる。

【0016】また、前記延長壁面15は、前記第2物入れ5bに対して段下がり形成されてなるので、図3に示すように、第1物入れ5aに対して第2物入れ5bを近づけた状態では、物入れ部10が平滑面となり、図4に示すように、第1物入れ5aに対して第2物入れ5bを遠のけた状態では、物入れ部10、10との間に延長壁面15が一旦段下がりされた状態となる。

【0017】前記縁部12には、貫通孔12aが形成されてなり、作業者がつかむ際の取っ手になる。また、符号19は、第1物入れ5a及び第2物入れ5b双方の縦壁面に形成したリブで、物入れ本体5の強度向上に寄与している。

【0018】従って、かかる構成よりなる物入れ本体5によれば、図示しない物品を収納可能な物入れ部10と、該物入れ部10の開口11の周囲に形成されてなる縁部12とより構成されてなり、図3に示すように、第1物入れ5a及び第2物入れ5bを近づけた状態では、図2の右半分に図示するように、スペアタイヤ収納部3内に物入れ部10を収納できるので、前記ラゲッジフロアパネル1に縁部12により吊り下げが可能である。こうして、積載物が小さいか或いは無いときは、小さな物入れ本体5としてスペアタイヤ収納部3のデッドスペースを利用して支持できることになり、車両内の空間を狭めないことになる。

【0019】また、図4に示すように、第1物入れ5aに対して第2物入れ5bを遠のけた状態では、図2の左半分に図示するように、大きな積載物の時は、ラゲッジフロアパネル1上に物入れ部10が載置可能であるので、大きな積載物を物入れ本体5としてラゲッジフロアパネル1の上に載置可能である。

【0020】物入れ本体5は、前記スペアタイヤ収納部3内で略半割状態になる第1物入れ5aと該第1物入れ5aに対応した略半割状態になる第2物入れ5bとにより器状に形成されてなり、該第1物入れ5aの壁面より第2物入れ5bの壁面に沿って延長壁面15が形成されてなり、前記第2物入れ5bを前記第1物入れ5aの延長壁面15に沿ってスライド自在なると共に適宜の位置で係止が可能なるので、小さな物入れとも大きな物入れともどちらにも容易且つ簡易に変更できることになる。

【0021】また、ビス17をナット18に対して弛めると、長孔16とビス17との間に隙間ができるので、第1、2物入れ5a、5bの大きさを容易且つ簡易に変更できる。また、ビス17をナット18に対して締結すれば、長孔16とビス17との間の隙間がなくなり固持されるので、その位置で、第1、2物入れ5a、5bが固持され、大きさを確実に保持できることになる。

【0022】

【発明の効果】請求項1記載の発明によれば、物入れ本体は、物品を収納可能な物入れ部と、該物入れ部の開

6

【図 1】この発明の採用されている車両の室内の後部を示す斜視図。

【図 2】この発明の一実施形態に係る図 1 の S A - S A 線に沿った断面図。

【図3】図2の物入れ本体の第1，第2物入れを近接させた斜視図。

【図4】図2の物入れ本体の第1，第2物入れを遠のけさせた斜視図。

【図5】図3及び図4の物入れ本体の分解斜視図。

10

【符号の説明】

1 ラゲッジフロアパネル (フロアパネル)

2 サイドトリム (壁部)

3 スペアタイヤ収納部

5 物入れ本体

5 a 第1物入れ

5 b 第2物入れ

10 物入れ部

1.1 物入れ部の開口

12 物入れ部の縁部

1.3 物入れ部の縦壁面

1.4 第2物入れの縦壁面

1.5 延長壁面

16 長孔 (係合部)

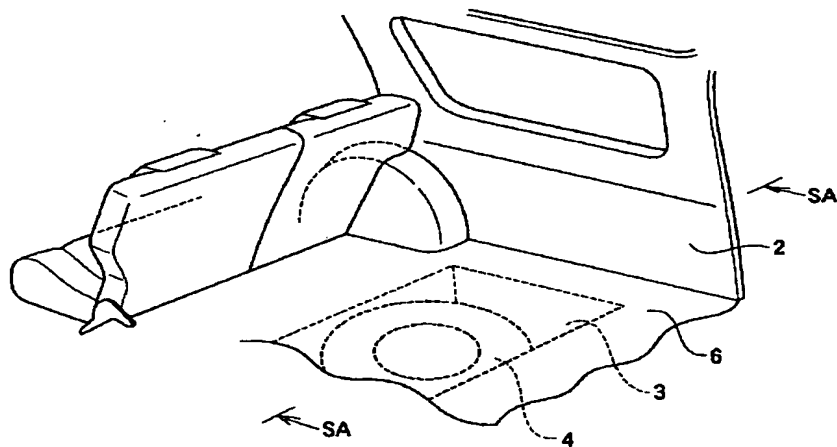
17 ビス (被係合部)

【００２４】請求項３記載の発明によれば、係合部と被係合部との間を弛めれば、第１，２物入れの大きさを容易且つ簡易に変更でき、係合部と被係合部との間を固持させれば、第１，２物入れの大きさを確実に保持できることになる。

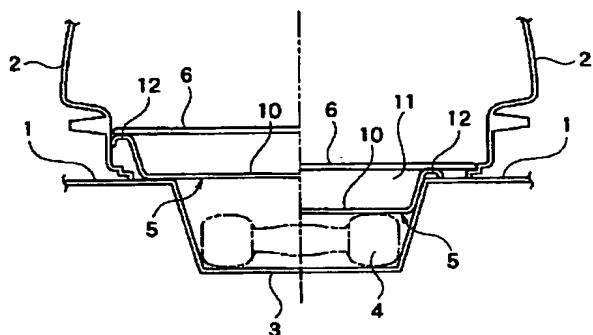
20

【図面の簡単な説明】

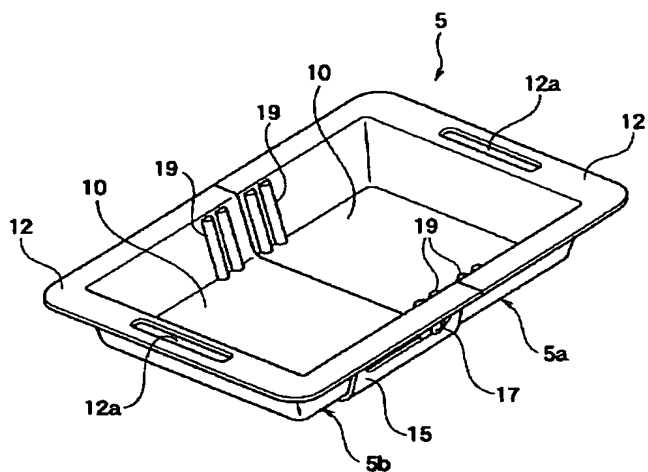
【図 1】



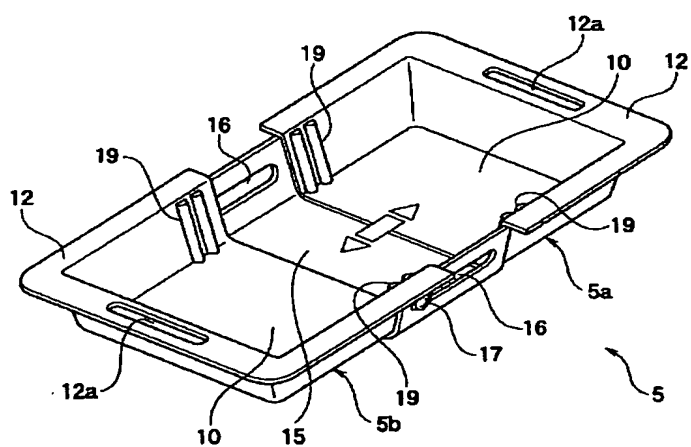
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

